

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 高松機械工業株式会社

コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高松 喜与志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 溝口 清

TEL 076-274-0123(代表)

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,749	—	362	—	381	—	186	—
20年3月期第1四半期	3,865	3.6	491	23.3	508	28.1	296	26.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	17.14	17.13
20年3月期第1四半期	27.38	27.28

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第1四半期	16,068	—	9,397	—	58.3	864.77
20年3月期	16,184	—	9,349	—	57.7	858.91

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 9,372百万円 20年3月期 9,330百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,284	—	852	—	902	—	544	—	50.16
通期	17,247	6.3	2,106	△0.1	2,205	0.6	1,329	2.8	122.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年3月期第1四半期 11,020,000株

20年3月期 11,020,000株

② 期末自己株式数

21年3月期第1四半期 181,824株

20年3月期 156,424株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年3月期第1四半期 10,857,162株

20年3月期第1四半期 10,846,546株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格や鋼材などの原材料価格が高騰を続け、サブプライムローンの影響によるアメリカ経済の減速感が強まってきたことから、企業の設備投資や個人消費が低迷するなど厳しい状況が続き、景気の下振れリスクも高まってきました。

工作機械業界におきましては、アメリカの景気低迷に加え、中国やインドでも足元にやや弱含み傾向が出てきていますが、ヨーロッパでは増加基調を維持しており、トータル的には高い受注水準で推移してきました。また、受注状況全体を見渡した場合では、業種や企業間で差が出ており、当社の主力である小型機よりも大型機が好調な傾向でありました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績は、客先納入機の検収及び出荷ずれ等もあった影響から、連結売上が37億49百万円（前年同期比1億15百万円減、3.0%減）となり、また、営業利益が3億62百万円（同1億28百万円減、26.2%減）、経常利益が3億81百万円（同1億26百万円減、24.9%減）、四半期純利益が1億86百万円（同1億10百万円減、37.3%減）となっております。なお、連結売上高に対する海外売上高比率は27.8%、当第1四半期末の工作機械受注残高は44億3百万円となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較し、1億16百万円減少し160億68百万円となりました。主な資産の変動は現金及び預金の減少4億81百万円、受取手形及び売掛金の減少54百万円、たな卸資産の増加3億48百万円等によるものであります。また主な負債の変動は支払手形及び買掛金の減少51百万円、未払法人税等の減少2億76百万円、賞与引当金の減少96百万円、未払費用の増加2億30百万円等によるものであります。

＜連結キャッシュ・フローの状況＞

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3億93百万円、たな卸資産の増加、賞与引当金の減少、法人税等の支払等により2億35百万円の資金流出（前第1四半期連結会計期間は8億20百万円の資金流入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、定期預金等の払戻などにより5億13百万円の資金流入（前第1四半期連結会計期間は1億75百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済、配当金の支払等により1億98百万円の資金流出（前第1四半期連結会計期間は1億66百万円の資金流出）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の期末残高は12億28百万円となり、期首残高に比べ68百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ21百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,013	3,494
受取手形及び売掛金	5,767	5,821
製品	371	262
原材料	715	627
仕掛品	1,025	864
貯蔵品	18	26
その他	331	307
貸倒引当金	△8	△17
流動資産合計	11,234	11,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,322	1,315
土地	1,522	1,522
その他(純額)	1,239	1,226
有形固定資産合計	4,085	4,064
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
その他	757	741
貸倒引当金	△10	△12
投資その他の資産合計	746	728
固定資産合計	4,834	4,796
資産合計	16,068	16,184

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,558	4,610
短期借入金	454	487
未払法人税等	215	492
賞与引当金	68	165
役員賞与引当金	10	36
製品保証引当金	23	18
その他	653	316
流動負債合計	5,984	6,125
固定負債		
長期借入金	15	48
退職給付引当金	462	460
役員退職慰労引当金	190	189
その他	18	11
固定負債合計	686	709
負債合計	6,670	6,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,833	1,834
利益剰余金	5,715	5,637
自己株式	△79	△55
株主資本合計	9,304	9,251
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70	67
為替換算調整勘定	△3	11
評価・換算差額等合計	67	79
新株予約権	24	18
少数株主持分	0	0
純資産合計	9,397	9,349
負債純資産合計	16,068	16,184

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	3,749
売上原価	2,802
売上総利益	947
販売費及び一般管理費	584
営業利益	362
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	3
再生物売却収入	8
その他	8
営業外収益合計	24
営業外費用	
支払利息	1
手形売却損	0
為替差損	0
関係会社支援費用	0
持分法による投資損失	1
その他	0
営業外費用合計	5
経常利益	381
特別利益	
貸倒引当金戻入額	11
特別利益合計	11
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	393
法人税、住民税及び事業税	211
法人税等調整額	△4
法人税等合計	206
少数株主損失(△)	△0
四半期純利益	186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	393
減価償却費	90
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△96
受取利息及び受取配当金	△7
支払利息	1
売上債権の増減額 (△は増加)	58
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△348
仕入債務の増減額 (△は減少)	△51
その他	208
小計	238
利息及び配当金の受取額	7
利息の支払額	△1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△480
営業活動によるキャッシュ・フロー	△235
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△24
有形固定資産の売却による収入	0
投資有価証券の取得による支出	△0
定期預金の預入による支出	△1,785
定期預金の払戻による収入	2,335
その他	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	513
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△66
配当金の支払額	△108
自己株式の取得による支出	△28
自己株式の売却による収入	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68
現金及び現金同等物の期首残高	1,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項なし

【参考】

(要約) 前第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間
	(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
I 売 上 高	3,865
II 売 上 原 価	2,825
売 上 総 利 益	1,040
III 販売費及び一般管理費	549
営 業 利 益	491
IV 営業外収益	20
V 営業外費用	3
経 常 利 益	508
VI 特別利益	1
VII 特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	509
法人税、住民税及び事業税	236
法人税等調整額	△ 24
少数株主利益	△ 0
四半期純利益	296